



武蔵だより

令和7年6月16日

第 4 号

生徒数 288名

学校教育目標 「自律・共生」 目指す学校像 「一人ひとりが輝く 自律と安心のキャンパス」

熱闘！ 感動！ そして未来へ ～学校総合体育大会を終えて～

校長 遠藤 誠

グラウンドに響き渡る歓声、体育館にこだまする気合い、そして、会場を包み込む温かい拍手。

13日（金）、14日（土）、16日（月）と開催された学校総合体育大会は、武蔵中学校の生徒たちの熱い想いと、それを支える人々の愛情が溢れる、感動的な三日間となりました。3年生にとっては、中学校生活の集大成となる最後の大会。それぞれの部活動が、これまで培ってきた技術、精神力、そして仲間との絆を胸に、持てる力を全て出し切りました。（結果は右頁のとおりです）

どの部活動も、ベンチからの声、スタンドからの応援、**武蔵中全体が一体**となり、出場している選手たちの背中を力強く押していました。

そして、勝利の喜びを分かち合う笑顔、敗北の涙を励まし合う姿、互いを尊重し、支え合う姿は、まさに「One for all, All for one」の精神そのものでした。

一方で、今大会をもって「廃部」となる女子バスケットボール部。2回戦で惜しくも敗退となりましたが、彼女たちの最後まで諦めずにボールを追いかける姿、仲間を鼓舞し続ける姿は、会場全体を感動の渦に巻き込みました。試合後、涙を流しながらも笑顔を見せた彼女たちの姿は、私たちに「最後まで諦めないことの大切さ」を教えてくださいました。女子バスケットボール部の歴史は幕を閉じますが、彼女たちの勇姿は、武蔵中学校の歴史に永遠に刻まれることでしょう。

生徒たちは、今大会を通して、単に勝利や敗北、技術だけにとどまらず、友情、努力、困難に立ち向かう勇氣、仲間を信じる心、そして最後まで諦めないことの大切さを学びました。

これらの経験は、生徒たちの今後の人生の中で大切なものとなります。努力することの大切さ、仲間とともに戦うことの意義、そして勝ち負けを超えた絆の大切さ等々。

これらを財産として素晴らしい**未来へと続く道**を切り拓いてほしいと切に願います。

また、保護者の皆様も応援に駆けつけ、子どもたちの奮闘を見守る姿は非常に印象的でした。仕事を休んでまで観戦に来てくださった保護者の方々には、心から感謝の気持ちを伝えたいと思います。

このように、親子が一緒になって戦う姿は、まさにチームスポーツの醍醐味です。子どもたちの一生懸命な姿は、周囲の人々に勇氣を与え、また感動を引き起こしました。それぞれが大きく成長した姿を見届けたことに、校長として誇りを感じるとともに、これからの生徒たちの活躍が益々楽しみになってきました。

県大会への出場権を獲得した野球部、剣道部 さん、 さん、男子ソフトテニス部の さん・ さんペアは、入間市の代表として更なる高みを目指し、存分に力を発揮してくれることを期待しています。

さらに、女子バレーボール部は、「準優勝」という素晴らしい結果を残し、これから行われる地区大会への出場を決めました。強豪ひしめく中、一戦一戦粘り強く戦い抜き、見事県大会への切符を掴み取ってくれると信じています。

最後に、今大会にご尽力いただいた保護者の皆様、地域の皆様、そして関係者の皆様に心より感謝申し上げます。皆様の温かいご支援とご協力があったからこそ、今回の素晴らしい大会が実現しました。

これからも、武蔵中学校は、生徒たちの成長を第一に考え、地域に根ざした学校づくりを進めてまいります。今後とも、ご理解とご協力をお願いいたします。

学校総合体育大会入間市予選会 (6/13, 14, 16)

■野球

■サッカー

■バスケットボール

■バレーボール

■男子ソフトテニス

■女子ソフトテニス

■卓球

■剣道男子

女子

1回戦

2回戦

個人

団体

個人

団体

個人

団体

個人

優勝

惜敗

惜敗

準優勝

第4位

準優勝

惜敗

惜敗

惜敗

惜敗

第3位

惜敗

準優勝

準優勝

第4位

<県大会出場>

<地区大会出場>

<県大会出場>

<県大会出場>

<県大会出場>

<県大会出場>

<県大会出場>

<県大会出場>

<県大会出場>

丸数字：学年，敬称略

野球部、男子ソフトテニス部、剣道部が県大会に出場します。バレーボール部は地区大会に出場し、県大会を目指します。健闘を祈ります！

生徒朝会(壮行会)

バスケットボール部

サッカー部

女子ソフトテニス部

男子ソフトテニス部

野球部

バレーボール部

剣道部

卓球部